

株式会社福山コンサルタント

【テーマ】 持続可能なインフラマネジメントの実現 / スマートコンセンションの推進 / グリーン社会の実現 / その他 ()

【対象施設】 道路 / 橋梁 / 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他 ()

データ活用による広域・多分野連携の効果的な群マネの支援

【事業方式】 コンセンション / その他のPFI / 包括的民間委託 / その他 ()

インフラ管理関連データをクラウドで一元管理し、リアルタイムに可視化・共有できる広域・多分野連携の群マネを支える官民連携のデータ連携基盤を提供します。日常点検管理、住民要望の収集・管理、市民への情報公開、技術継承などの個別機能を組みあわせ効果的な群マネの実現を支援します。

①提案によって解決することができる課題のイメージ

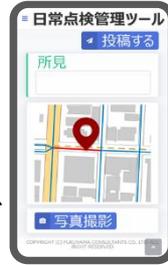
- | | |
|-----------------|---|
| (1) データ分散・未連携 | インフラ管理関連データが分散しており、他部署や隣接自治体が保有するデータと連携できておらず、データの有効活用ができていない |
| (2) 日常管理業務の非効率化 | インフラ日常管理業務の対応に追われ、現場記録の入力・更新が滞り、管理データを有効に活用できないため計画的管理ができていない |
| (3) 住民の声の未活用 | 様々な媒体からの要望・苦情情報が一元化されておらず、また位置情報と対応履歴が統合されていないため、住民の声を有効に活用できていない |
| (4) 技術・知識の継承 | ベテラン職員の勘所・注意点などの技術・知識が属人化し、マニュアル化などの整備もできておらず、若手職員への継承ができていない |

②提案内容

効率的な作業を支える「日常点検管理ツール」

◆簡易に記録、リアルタイム共有

自治体職員および受託事業者が、スマホ対応WEBアプリで点検結果を簡易入力することができます。クラウドに即時反映され、現場情報（写真・位置・時刻・所見）をリアルタイム共有することができます。記録の標準化と蓄積により、点検漏れ防止、対策の優先度検討、計画的な維持管理に繋げることができます。

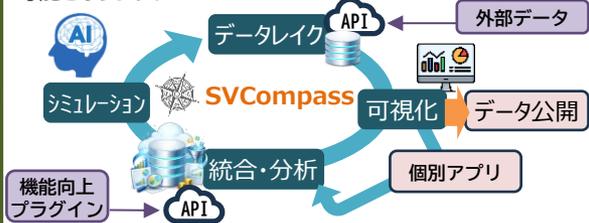


広域・多分野データの一元化を支える「データ連携基盤」

◆データ活用による効果的な群マネの実現

WEBアプリケーションで、インフラ維持管理に必要な様々な情報をリアルタイムに一元管理・可視化することができます。作成したデータ等は、柔軟な共有設定が可能であり、他自治体（広域連携）、他部署（多分野連携）とも情報を共有することができます。インフラ管理以外の分野（福祉、防災等）のデータも含めて管理することで広義の多分野連携にも発展できます。また、包括的民間委託業務受注業者など、民間企業とも情報共有が可能なためシームレスな情報共有が可能となります。

| | |
|-----|------------|
| 路線名 | 〇〇線 |
| 管理者 | △△町 |
| 車線数 | 2 |
| 幅員 | 8.5 |
| 舗装 | アスファルト |
| 点検 | 2025/10/13 |



簡単な操作で実現できる「市民への情報公開機能」

◆様々な情報を公開することができます

データ連携基盤で作成した可視化マップなどを、権限・公開範囲を設定した上で容易に公開することができます。道路などのインフラ整備状況や交通量等のデータに加えて、カメラ映像や、各種センサーなどの動的なデータも含めて簡単に公開することができます。



住民からの情報をマネジメントする「投稿・管理ツール」

◆住民要望・苦情情報を一元管理

住民からの要望・苦情等の情報を有効に活用するため、PC、スマホから投稿でき、要望等の情報を一元管理できます。電話・窓口なども含めた多様な手段による情報提供をマネジメントし、適切な対応に結びつけることができます。



職員減少・高齢化に対応する「生成AI技術継承ツール」

◆みんなで育てる技術継承AIチャットボット

ベテラン職員の技術・ノウハウを継承していくためのツールです。運用しながら学習データを追加していく仕組みとしており、導入準備時の手間が最小限で開始することができます。



【先進性】

- ◆クラウド上で広域・多分野・官民のデータをリアルタイムに統合し、地図上で可視化・共有できるWEBアプリケーション
- ◆住民からの情報収集、住民への情報提供が簡単に実現でき、官民連携の群マネを展開
- ◆生成AI技術を活用した技術継承・職員育成の実現

【有効性】

- ◆自治体間、分野間のデータ共有により、広域・多分野連携の群マネ基盤（データプラットフォーム）を実現
- ◆広域・多分野連携データを一元化し、組みあわせて分析することができ、効率的な連携のあり方（エリア・分野）を検討できる
- ◆官民でのデータ共有による効率的な日常管理業務を実現

【汎用性】

- ◆WEBブラウザで低スペックPC、タブレットでも運用可能
- ◆サーバー設置、インストール不要で小規模から開始可能
- ◆直感的に操作することができ、特別なスキルが不要
- ◆小規模なデータ連携から開始することができ、徐々に拡大可能
- ◆自治体ニーズに合わせたカスタマイズが容易に可能